

「沖縄 21 世紀ビジョン(仮称)」(素案)の構成

平成 21 年 11 月
県企画部

1 はじめに

- (1) 復帰 37 年を経た今日の沖縄
- (2) 沖縄を巡る情勢
- (3) ビジョン策定の意義
- (4) ビジョンの構成

2 基本理念

3 めざすべき将来像

- (1) 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
- (2) 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- (3) 希望と活力にあふれる豊かな島
- (4) 世界に開かれた交流と共生の島
- (5) 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

4 将来像の実現に向けた推進戦略

- (1) 「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島」実現への推進戦略
- (2) 「心豊かで、安全・安心に暮らせる島」実現への推進戦略
- (3) 「希望と活力にあふれる豊かな島」実現への推進戦略
- (4) 「世界に開かれた交流と共生の島」実現への推進戦略
- (5) 「多様な能力を発揮し、未来を拓く島」実現への推進戦略

5 克服すべき沖縄固有の課題

- (1) 大規模な基地返還とそれに伴う県土の再編
- (2) 重要性を増す離島の新たな展開
- (3) 海洋島しょ圏 沖縄を結ぶ交通ネットワークの構築
- (4) 地方分権と道州制の導入

参考資料

[3 めざすべき将来像／4 将来像の実現に向けた推進戦略]の概要

(1) 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島

自然環境の保全と再生・創造

【基本的課題】

○島しょ地域という脆弱性にどのように配慮し、生物の多様性をどう確保していくか。

○失われつつある沖縄独特の自然や景観等を、どう取り戻していくか。

【推進戦略：沖縄グリーン・イニシアティブ戦略】

●環境保全のための利用区分(ゾーニング)や環境収容力(キャリング・キャパシティ)の考え方に基づくルール・仕組みづくりを行う。

●先進的な「自然再生型」「環境創造型」事業の導入等を推進する。

独特の歴史、伝統、文化

【基本的課題】

○歴史、伝統、文化等をどう守り、適切に継承・活用していくか。

○新たな文化をどう創造していくか。

【推進戦略：沖縄伝統文化・芸術・スポーツ展開戦略】

●歴史、伝統文化、精神文化等を貴重な地域資源として守るために仕組みづくりと併せて、世界に発信する取り組みを推進する。

●観光リゾート地として質の向上、新たな産業の創出に向けて、芸術文化、エンターテイメント文化等を戦略的に創造・育成する。

風景・景観、まちづくり

【基本的課題】

○沖縄らしい風景等を資源と再認識し、どう守り、創り、調和させていくか。

○高齢社会に対応したまちづくりを、どう進めていくか。

【推進戦略：人間優先まちづくり戦略】

●沖縄固有の景観・風景・風土を、時間とともに価値が高まっていく「価値創造型のまちづくり」を実現する。

●高齢者、障がい者など交通弱者に対応した歩行者主体のコンパクトな都市づくりなど21世紀に相応しい「人間優先のまちづくり」を推進する。

世界に誇れる環境モデル地域

【基本的課題】

○島しょ地域における国際的な環境モデル地域を、どう構築すべきか。

【推進戦略：沖縄グリーン・イニシアティブ戦略】

●新エネルギーの導入や省エネルギー、リサイクル等の技術革新を進め、世界のモデルとなる「低炭素島しょ社会」を実現する。

(2) 心豊かで、安全・安心に暮らせる島

安全・安心な暮らし

【基本的課題】

- 子育てしやすい仕組みづくり、健康・医療体制の充実等を、どう図るか。
- 生活基盤の整備、災害への対応、治安の維持・向上等を、どう図るか。
- 米軍基地から派生する事件・事故の防止や航空機騒音の軽減等の措置を、どう講じていくか。

【推進戦略：セーフティネット（安全網）形成戦略】

- 保健・医療体制、医療と連携した介護・福祉、地域の子育て支援等の充実による「健康福祉・子育てセーフティネット」を整備する。
- 大規模自然災害、感染症の流行、食品偽装、凶悪事件など、住民の安全と安寧を脅かす社会的な重大リスクに対して、地域社会全体での危機管理機能の向上による「社会リスク・セーフティネット」を確立する。
- 米軍の安全管理・綱紀粛正の徹底や環境監視等を行うとともに、日米地位協定の抜本的見直し等を進める。

健康・長寿

【基本的課題】

- 健康・長寿の沖縄をどのように復活するか。
- 高齢化が進行する中、生きがいをもって健康で安心して年が重ねられる社会システムをどう構築していくか。

【推進戦略：食と風土と技術を活かした健康長寿地域づくり戦略】

- 県民の健康づくりと生活習慣病の予防対策等を進め、世界に誇れる「健康・長寿おきなわ」の実現を目指す。
このため、沖縄の長寿を支えてきた食文化を活かすとともに、ライフスタイルの見直しや地産地消、食育等を推進する。
- 健康・医療をコアとする新しいまちづくり・都市づくりを推進する。

地域社会

【基本的課題】

- 地域社会をどのように再生していくか。
- 住民と行政との連携を、どう構築していくか。

【推進戦略：共助・共創型地域づくり戦略】

- 地域の資源等を掘り起こし、磨き上げ、地域の宝・財産として共有する。
また、ユイマールや地域の伝統行事の継承など人々の絆を強化し、コミュニティの再生を図る。
- 地域住民、自治会、NPO、行政等の連携により、「共助・共創型のまちづくり」を進める。

(3) 希望と活力にあふれる豊かな島

21世紀の「万国津梁」

【基本的課題】

- アジア・太平洋地域との多元的な交流を、どう進めていくか。
- 国際航空ネットワーク等の交通体系を、どう構築するか。

【推進戦略：21世紀の「万国津梁」形成戦略】

- 日本本土とアジア・太平洋地域との人・モノ・情報の交流を促進し、空港の整備・機能拡充と、国内・国際航空路の新たな展開を進める。
- アジア・ゲートウェイの主要な拠点として、アジア地域との国際航空ネットワーク等の構築を進める。

産業振興

【基本的課題】

- 沖縄の強みを活かしつつ、地域産業をどう育てるか。
- 国内外から収入を獲得するために、産業の新たな展開をどう図るか。

【推進戦略：持続的発展の基礎となる地域産業の振興戦略・

沖縄新・リーディング産業育成戦略】

- それぞれの地域や島々に深く根ざしている農林水産業や製造業等の地域産業を観光産業との連携や経営の高度化等により支え振興する。
- 観光リゾート産業、情報通信関連産業の高度化・多様化を進めるとともに、大学院大学を中心とした「知的クラスター」の形成、国際物流関連産業の集積、環境分野や先進医療分野など新たな産業を育成する。

雇用創出と労働力の確保

【基本的課題】

- 雇用の場の確保や働きやすい職場環境の整備を、どう図るか。
- 少子高齢化に伴う労働力人口の減少に、どう対応していくか。

【推進戦略：雇用対策と多様な人材確保戦略】

- 多様な雇用の場の確保や仕事と生活の調和に配慮した職場など、労働者が安心して働く環境を整備する。
- 若者、高齢者、女性等の労働力化の促進とともに、将来不足する労働力については積極的に県外労働力の確保・育成を推進する。

基地返還跡地の活用

【基本的課題】

- 県全体の発展のために、基地返還跡地をどのように活用するか。
- 計画的かつ円滑な基地返還跡地利用を、どう進めるか。

【推進戦略：大規模基地返還跡地の活用戦略】

- 都市再生の視点から人と自然が調和する良質な生活空間を回復する。
- 跡地利用のロードマップ作成と、利用に関する新たな制度を創設する。

(4) 世界に開かれた交流と共生の島

国際外交における沖縄の役割

【基本的課題】

○新時代の沖縄振興に向け、どのような国際戦略の構築・展開を図るか。

【推進戦略：沖縄が担うべき地域外交戦略】

- 中国・台湾・ASEAN 等との多元的なネットワークを通じ、「交流型経済」の構築を図る。

国際交流・共生

【基本的課題】

○多元的なネットワークを通じた経済的な発展を、どう図っていくか。

【推進戦略：南の交流拠点形成戦略】

- アジア・太平洋地域との交流により、ビジネス機会の拡大や、“海外雄飛”の歴史に学び自らも海外に活躍の場を求めるとともに、「世界のウチナーンチュ」等の国際的な人的ネットワークの連携強化を図る。

国際協力・貢献

【基本的課題】

○国際的な課題解決に向け、地理的な特性を活かしてできることは何か。

○島しょ国等に対して、沖縄が貢献できることは何か。

【推進戦略：国際貢献拠点形成戦略】

- 海洋島しょ圏として積極的に貢献し、外交分野における国との新たな連携・協力関係を構築するなど戦略的・継続的な取り組みを進める。
- 我が国の島しょ国外交への積極的貢献により、アジア・太平洋地域との交流ネットワークを構築し、地球温暖化やエネルギー問題、自然災害、緊急医療等の課題解決に向けた国際貢献・協力拠点等の形成を図る。

平和の発信と世界平和への貢献

【基本的課題】

○平和を希求する「沖縄の心」をどう生かし、発信していくか。

○米軍基地の整理・縮小をどのように進めていくか。

○沖縄として、世界平和にどう関与し、貢献していくか。

【推進戦略：アジア・太平洋地域の「平和協力外交拠点」形成戦略】

- 「平和の礎」、「沖縄平和賞」等を通して、「沖縄の心」を内外に発信し、世界の平和構築に貢献する。
- 米軍基地の整理・縮小を進め、将来的には基地のない沖縄を目指す。
- 沖縄のソフトパワーを活用した「地域平和協力外交」の展開等を沖縄が積極的に担い、アジア・太平洋地域の持続的安定と平和に資する「新たな外交都市」として独自の貢献を果たす。

(5) 多様な能力を發揮し、未来を拓く島

人間形成

【基本的課題】

○家庭や地域等における人間形成をどのように図っていくか。

【推進戦略：人づくり戦略】

- 互いに助け合い、支え合える心豊かな社会を目指し、学校、地域及び各家庭が協働し参画する社会づくりを進めることにより、沖縄らしい個性を持った人づくりを推進する。

教育

【基本的課題】

○学校教育及び家庭教育、地域社会における教育はどうあるべきか。

○離島をはじめとする沖縄全域での学校教育の充実をどう図るか。

【推進戦略：良好な教育環境づくり戦略】

- 児童生徒の学力の向上と豊かな心、健やかな体の育成を図る。
- 理解力や柔軟な判断力に加え、環境や歴史、伝統、文化など沖縄の良さを守り創造する人間力を高める「沖縄スタンダード」の教育システムを構築する。

人材育成

【基本的課題】

○沖縄の将来を担う各分野の人材をどう育成し、活用していくか。

○時代のニーズに対応した人材育成を、どう進めるか。

【推進戦略：産業人材の育成戦略】

- 質の高い沖縄観光の実現と情報通信産業の高度化・多様化に向けた人材の育成を図る。

優位性のある地域資源を活用した地場産業の振興につながる人材育成の充実強化を図る。特に、農林水産業については、若者の就農促進と、マネジメント能力の養成を図る。

また、バイオ産業や健康関連産業など新たな産業の振興に向けた人材の育成を図る。

- 環境・エネルギー・医療など、世界に貢献する最先端産業の振興に向けて、必要な人材育成システムを構築するとともに、大学院大学を含む高等教育機関の活用によりフロントランナーを育成する。